

リサイクル燃料備蓄センターにおける既工認と品質マネジメントシステムの関連

項目	年	平成15年 2003	平成16年 2004	平成17年 2005	平成18年 2006	平成19年 2007	平成20年 2008	平成21年 2009	平成22年 2010	平成23年 2011	平成24年 2012	平成25年 2013	平成26年 2014	平成27年 2015	平成28年 2016	平成29年 2017	平成30年 2018	令和元年 2019	令和2年 2020	令和3年 2021	令和4年 2022	
〈QMS〉 ○原子力品質保証規程 ○設工認に使用する主要二次マニュアル ・調達管理マニュアル ・設計管理マニュアル ・検査及び試験マニュアル (現検査マニュアル) ・建設マニュアル		9/30 JEAC4111*1-2003制定 △			■11/21 RFS設立 2/13 JEAC4111-2003 (準用) △			3/23 JEAC4111-2009制定 △					12/18 品証規則*2施行 (JEAC4111+品証規則) △						4/1 品管規則*3施行 △			
					2/13 新規制定 △			3/10 改訂05 △					12/18 改訂14 △					8/10 改訂24 △			4/1 改訂25 △	
					3/16 新規制定 △				4/1 改訂02 △				12/18 改訂03 △								4/1 改訂09 △	
					12/1 新規制定 △				5/18 改訂01 △					12/18 改訂03 △								4/1 改訂09 △
					3/28 新規制定 △				1/18 新規制定 △					12/18 改訂02 △								4/1 改訂06 △
〈事業許可〉 建設 新規制基準対応*4 新検査制度対応*5						3/22 申請 ▼			5/13 許可 ▼					1/15 変更許可申請 ▼						11/11 許可 ▼		
〈保安規定〉 建設段階																			7/28 申請 ▼	9/16 認可 ▼	4/1 施行 ▼	
〈設工認〉 建設 新規制基準対応*4 新検査制度対応*5								6/16 申請 ▼	8/27 認可 ▼													
〈工事計画〉 (事業許可本文5) 準備工事 使用済燃料貯蔵建屋建設 金属キャスク製作・据付け																						

- : 現在の品管規則が、当社QMS導入当初から準用してきた民間規格 (JEAC4111) をベースに改正されてきた変遷を示す
- : 民間規格 (JEAC4111) 及び規則に基づき策定した、当社QMSの最上位の規程である「原子力品質保証規程」の改訂の変遷を示す
- : 原子力品質保証規程に基づき策定した二次マニュアルの改訂の変遷を示す (設工認で使用する主要な二次マニュアルを掲載)
- ↓ : 当社QMSのマニュアル類が、その当時の上位の規格、規則に基づき規定されていること及びその当時のQMSに基づき、許認可申請を行っていることを示している
- : 許認可の変遷を示す

※ 1 : 原子力発電所における安全のための品質保証規程
 ※ 2 : 使用済燃料貯蔵施設に係る使用済燃料貯蔵事業者の設計及び工事に係る品質管理の方法及びその検査のための組織の技術基準に関する規則
 ※ 3 : 原子力施設の保安のための業務に係る品質管理に必要な体制の基準に関する規則
 ※ 4 : 「使用済燃料貯蔵施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」の反映
 ※ 5 : 「原子力利用における安全対策の強化のための核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律等の一部を改正する法律」に基づく対応

マニュアルへ移行